実務研修第8日目
（更新･再研修第7日目）
ケアマネジメントの展開
脳血管疾患に関する事例
9:20～13:00

脳血管疾患の特徴を踏まえて
ｱｾｽﾒﾝﾄ、支援のﾎﾟｲﾝﾄを学ぶ

9:20～9:30

・脳血管疾患の事例を通して
　　アセスメントの重要性を学ぶ
・紙面上の情報からﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの
　　視点を学ぶ

・個人ワーク→グループワーク→発表
・各グループ自己紹介
・リーダーおよび発表者を決定

９:３０～１０:１０

初期面接相談時の情報収集の視点

１、個人ワーク（20分）
　P156とP157を読んでP159の演習シート
　を行う。収集の方法は省いても・・・
　初回で特に注意して得る情報を考える
２、グループワーク（15分）
３、発表・まとめ（5分）

9:30～10:10

例

必要な情報

本人は退院しても希望でお風呂に入りたい。
妻はトイレが心配

↓

本人や妻の退院してからの生活に関する不安等をしっかりと聞いておく必要がある

理由

初めて経験する障害を持った夫との夫婦生活においてまずもって、不安を解消して新たな生活に臨んでいく気持ちになることが大切である。お互いの関係性も踏まえて本音の部分をしっかりと聞いておくことが重要である

10:10～10:50

情報の整理と不足情報確認の視点

1、個人ワーク（20分）
　P162～P164を読んでP161の演習シート
　を行う。収集の方法は省く
　補足する必要な情報を検討する
2、グループワーク（15分）
3、発表・まとめ（5分）

10:10～10:50

例

不足している情報・視点

食事行為においては、なぜこぼす？原因は口、手？頭？
なぜ柔らかめ？嚥下障害？上下どちらか義歯？
利き手は右手？右上肢の中程度とは？最近体重減少？
意慾の問題も絡んでいるのか？好き嫌い？

理由

退院してからの栄養状態をきちんと確保していくために
どのように日々の食事を考えていったらよいか、食事の提供者、経済的側面も考量して考えていく必要がある
又、食事に関するリハビリテーションの計画にも大切な情報となるため

10:50～11:00

休　　憩

11:00～11:40

情報から得られる課題を創造する

1、個人ワーク（20分）

P164を読んで、その文章・言葉から
考えられることを、列挙する。
考えられることならなんでもよい

創造性も発揮して、課題を探る

2、グループワーク（15分）

3、発表・まとめ（5分）

11:00～11:40

例

健康状態

関節の痛み：左肩に軽度

なんで左肩が痛いのだろうか？右手が使えないので殆ど左手のみで行っているので痛いのだろう。

口腔衛生

自分から進んでやることはない

なぜ歯磨きしないのだろうか？歯ブラシを持たせると磨けるのに、やる気の問題？高次脳機能の障害が何かある？面倒くさがり？・・・

11:40～12:20

アセスメントから課題を探る

1、個人ワーク（20分）
　生活全般の解決すべき課題を考える
　P165の右半分を仕上げる
2、グループワーク（15分）
3、発表・まとめ（5分）

11:40～12:20

例

平成23年頃（63歳）から高血圧症で加療。
平成28年に脳出血。年齢68歳
高血圧症で服薬を続けている。
現在、降圧剤を使用し、全身状態は安定している。

以上から

血圧を管理して、脳卒中の再発を防止し、全身状態が安定して、身体について不安なく生活が送れるようにしていく（していく必要がある）

12:20～12:30

ICFのシートの説明

12:30～12:50

演習の振り返り

グループワーク（15分）
発表（5分）

12:50～13:00

まとめ